

問題【国語】

問一 次の動詞の活用表を完成させましょう。

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形	活用の種類
走る							
食べる							

問二 次の文の傍線部の動詞の活用形を答えましょう。

- ① 廊下では走らない。 ② 私はどんなものでも食べます。

後ろの言葉とセットで

今回は動詞の活用について問題にしました。日本語の活用とは「走る」の後に「ない」が続くことで「走らない」になるように、用言（動詞や形容詞、形容動詞）が後に来る言葉によって、形が変化することです。いつも会話するときにはきちんと動詞が活用できて

いてもいざ国語の問題で活用を聞かれると混乱してしまう人も多いと思います。まずは動詞の活用について整理をしてみましよう。変化する形は後に「ない」などが続く未然形・「ます」などが続く連用形・「。」が続く終止形・「名詞」が続く連体形・「ば」が続く假定形・命令形と6種類あります。どの部分でどの活用形を使うかは、後に

くる言葉で決まります。ですから、活用形を覚えるときは、「ら・り・る…」と活用の部分だけ覚えるのではなく「走らない」「走ります」と実際に後に続く言葉とセットにして覚えてみましょう。

さて、活用形を答える問題を見ていきましょう。①であれば、「走ら」と活用するのは、未然形だと傍線部の形を見ただけで活用形を答えることができます。では、「食べ」のように未然形と連用形が同じときはどう区別すればいいでしょうか。そういうときは、後にくる言葉を確認しましょう。「ます」

【解答】

用言	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
走る	走ら	走ら	走ら	走ら	走ら	走ら	走ら	走ら
食べる	食べ	食べ	食べ	食べ	食べ	食べ	食べ	食べ